

「安心・良質・安定」の農産物生産システムの構築 (株式会社未来彩園)

<法人の概要>

所在地：宮城県黒川郡大衡村

設 立：平成 16 年 10 月

資本金：4 1 5 0 万円 売上高：1 億円（平成 26 年）（うち農業：1 億円）

役 員：4 名（うち農作業従事 2 名）

従業員数：1 8 名、うち農業従事者 1 8 名

経営面積：約 1 ha 営農作物：トマト

農業開始時期：平成 17 年 6 月



施設外観



養液栽培によるトマト

<農業参入に至った経緯・動機>

株式会社未来彩園は、建設業からの参入法人であり、建設業以外へのビジネス展開を模索していたところ、農業をビジネスチャンスと捉え、雇用の安定化を図るため、宮城県で導入実績があり、10月～7月の長期出荷が出来る養液栽培トマトに注目し、企業の持つ経営感覚・資金力・経営資源を投入し、農業法人設立による雇用創出と産業再生対策を目的として農業参入を決意した。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

農業参入にあたっては、新たに農業生産法人株式会社未来彩園を設立した。施設は、宮城県の「新世代アグリビジネス創出事業」を平成 16 年度に活用し、1 ha 規模のダブルフェンロー型温室を整備し、営農を開始した。栽培方式は養液栽培による長期多段取りを行っている。

<営農開始から現在まで>

テーマを「安心・良質・安定の農産物生産システムの構築」、キャッチフレーズを「大規模農場経営による質的変換で魅力ある農業へ」とし、営農を開始した。

販売会社を設立し、独自に販売先を開拓して、大手スーパー、コンビニエンスストアなどに販売しているだけでなく、地元の学校給食向けにも提供している。

県の農業試験場の現地試験ほ場として、LED 照射の試験を行っており、更なる販売量向上に向けた取組も行っている。

<今後の農業経営の展開方向>

生産性の向上のため、

- ・定植苗の導入（収穫期間の延長）
- ・接木苗の積極的な導入（現在 30%⇒全面）

新規参入企業への栽培指導、経営コンサルティング

<今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス>

- ・信頼性の高い施設の建設及び環境制御システムの導入（灌水・温度）
- ・管理者及び従業員の事前研修の重要性
- ・安定した販路の開拓 等



出荷作業の様子



LED 照射試験